

# 消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.122

発行所：日本消化器がん検診学会  
 関東甲信越支部  
 〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-9-2  
 東京都立がん検診センター  
 消化器内科  
 TEL / 042-321-0711  
 E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp



## 目次

支部長あいさつ	2
第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	
第83回関東甲信越支部地方会を終えて	3
第15回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト結果報告	7
第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	
会告	10
会長挨拶	11
日本消化器がん検診学会関東甲信越支部	
超音波研修委員会	12
第27回初心者のための腹部超音波実技講習会	12
超音波セミナーご案内	12
第17回超音波セミナーin新潟	13
超音波スクリーニング研修講演会2024東京	14
保健衛生研修委員会活動報告	18
第18回千葉県消化管画像づくり研究会のご案内	21
編集後記	22



## 支部長あいさつ

### 支部長のつづやき3 ～新企画 支部優秀演題賞について～

こころとからだの元氣プラザ 内視鏡検査部 小 田 丈 二

会員の皆様、平素より支部の運営、活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。関東甲信越支部 支部長を拝命しております、小田丈二です。

今年度より、表題にございますように、支部優秀演題賞を選定することとなりました。各支部地方会で発表された一般演題の中から優秀な演題を選定いたします。次の基準に該当する方を毎年各1名、計2名を選出する予定です。その条件としましては、演題登録時に学会会員であり、

- 1) 医師：当該地方会開催初日に50歳以下（ただし、本部代議員は除く）
- 2) 医師以外のメディカルスタッフ：当該地方会開催初日に40歳以下

そして、受賞者には、

- 1) 賞状と奨励金（3万円程度）を授与する。
- 2) 翌年春の本学会総会に学会本部が招待する。

奨励金と総会招待に伴う費用（旅費、宿泊費（2泊以内）、学会参加費）は、すべて本部が負担する。

- 3) 受賞者は当該総会参加における簡単なレポートを400字内で理事長に提出する。

受賞式は総会時の合同懇親会時に行います。

という内容です。今年度は、聖マリアンナ医科大学 安田宏先生会長の支部例会が9月に神奈川で開催され、優秀演題が選定されました。

この企画は、一般演題への登録の活性化と若手の方々の地方会への積極的な参加を期待するものです。

我こそはという方は、奮って応募していただければありがたいです。

2025年は、8月31日に、東京医大茨城医療センター、岩本淳一先生会長のもと、水戸で開催の予定となっております。

このNewsletterを読まれた方は、周知のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。などつぶやいてみました。

会員の皆様方の益々のご協力のほど、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

## 第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会開催報告

### 第83回関東甲信越支部地方会を終えて

去る2024年9月15日に「消化器がん検診の進歩と実践」をテーマに第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を川崎市コンベンションホールで開催させていただきました。大変天気が良い日曜日で400名を越える皆様の参加をいただきました。誠にありがとうございました。

特別企画としてミニレクチャーに続いてAI内視鏡各社のハンズオントレーニングを行い、多くの先生方に実際にスコープを手にとっていただきました。

「大腸がん検診の精検受診率向上を目指した取り組み」のセッションでは濱島ちさと先生に基調講演をいただき、様々な発表と討論がなされました。教育講演では国立がん研究センター中央病院の三宅基隆先生から大腸コロノグラフィについてご講演いただきました。午後の保健衛生研修委員会では本主題についてのミニレクチャーと活発な議論が行われました。

主題の「胃 X 線内視鏡検診のあらたな取り組み」、「超音波検診判定マニュアルに追加する所見」、「撮影法ガイドライン改定に向けて今できること」、「リスク層別化と肝がん検診」、「X 線フォーラム」では、様々な切り口から多数の演題を頂戴しました。消化管画像セッション、ベストイメージングコンテスト、超音波クイズセッションでは多くの素晴らしい画像を供覧いただき、会場の参加者を交えて活発なディスカッションが行われました。

一般演題では今年度より最優秀演題を選出し、次年度の総会へご招待することになりました。本会では自治医科大学附属さいたま医療センター消化器内科の関根匡成先生を推薦させていただきました。次回地方会でもより多くの演題登録をお願いいたします。

素晴らしい主題を企画いただいた小田丈二支部長をはじめとするプログラム委員の皆様、発表いただいた演者の皆様、休日にもかかわらず参加いただいた多くの皆様、学会運営をサポートいただいた各企業様、神奈川県予防医学協会・聖マリアンナ医科大学病院スタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。

2024年10月

第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会会長

聖マリアンナ医科大学病院 消化器内科教授・内視鏡センター長

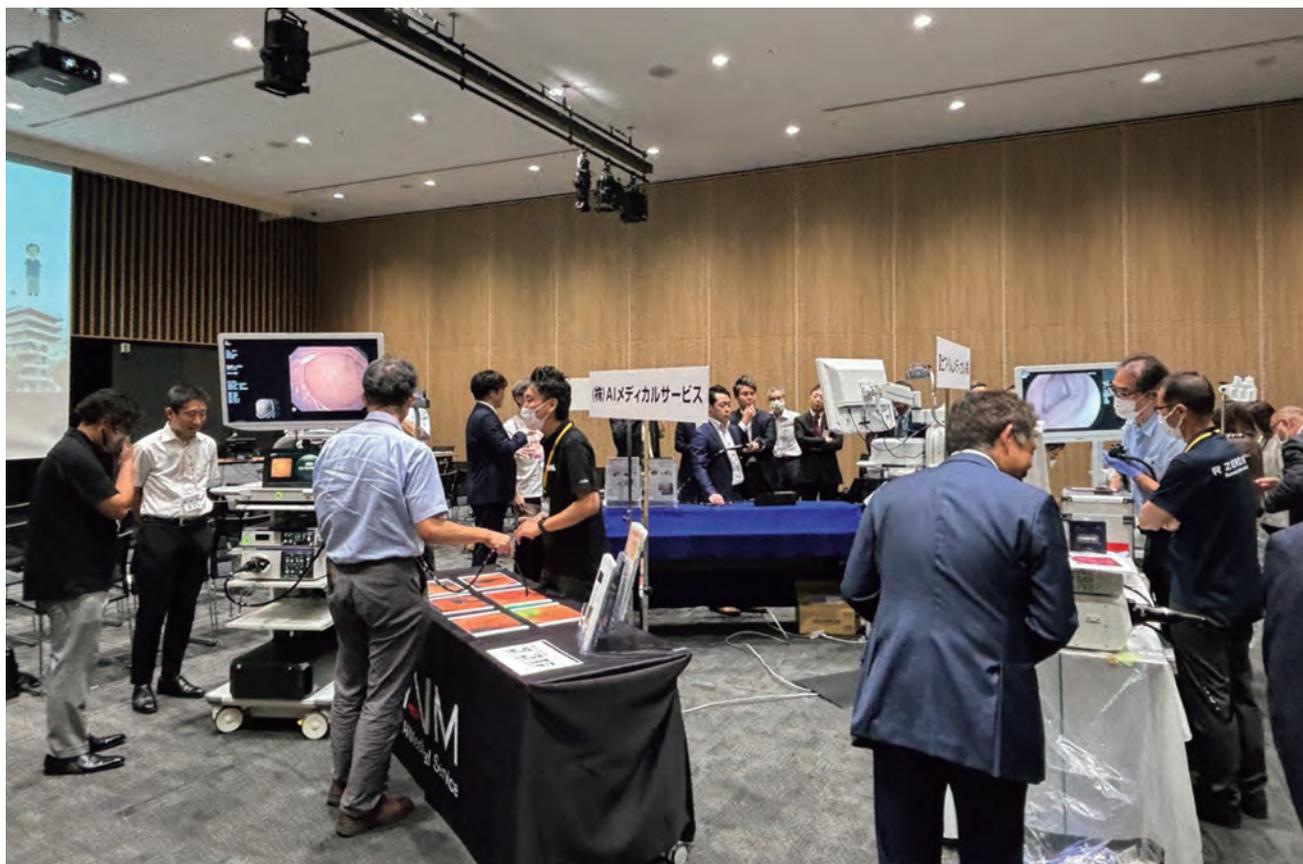
安田 宏



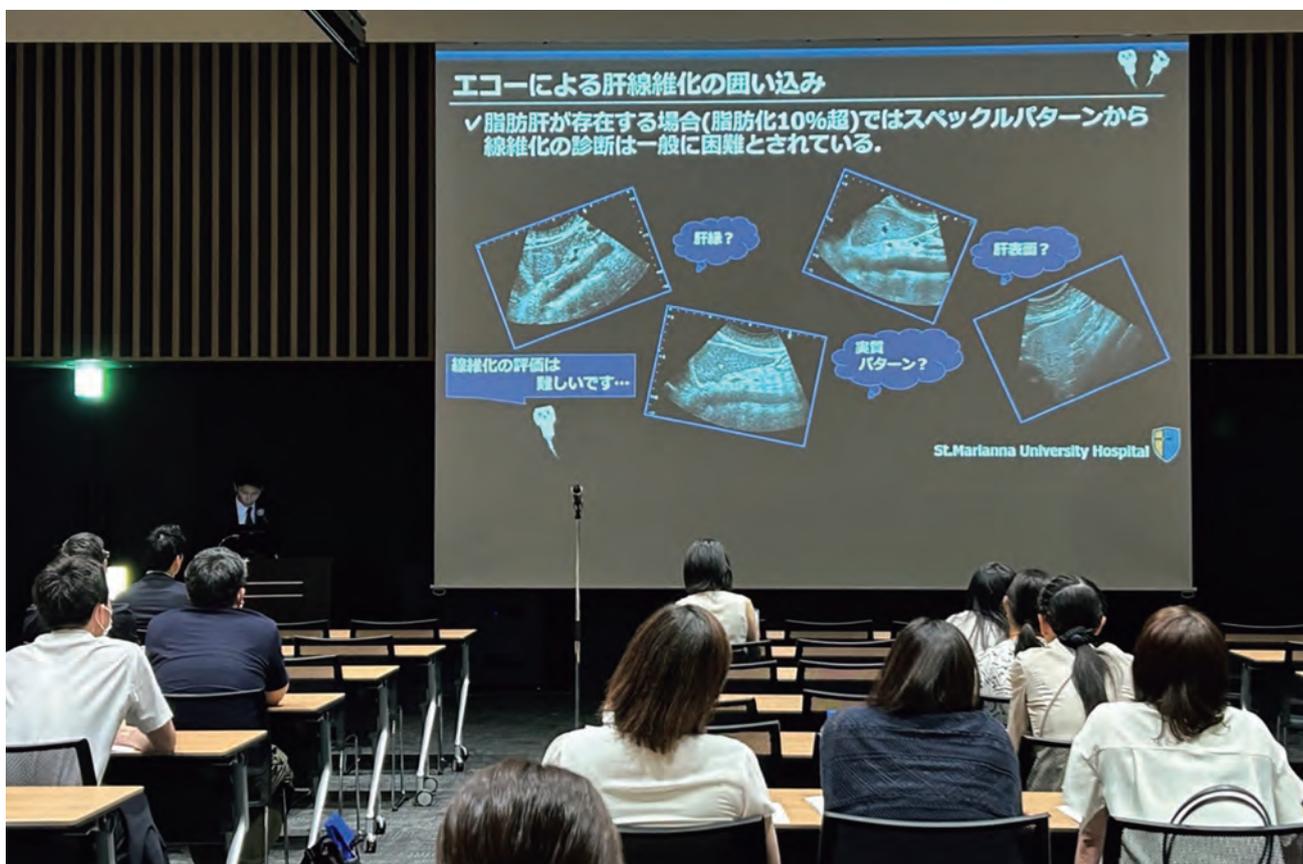
「胃 X 線内視鏡検診のあらたな取り組み」



「大腸がん検診の精検受診率向上を目指した取り組み」



AI内視鏡ハンズオン



「リスク層別化と肝がん検診」



消化管画像症例セッション



終了後にスタッフの皆様と集合写真

## 第15回 ザ・ベスト・イメージング・コンテスト結果報告

第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会において安田宏学会長のご協力をいただき「第15回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト」を開催いたしました。今回も過去最高だった昨年度とほぼ同数の39症例と多数の応募をいただきました。これまで応募のなかった施設や関東甲信越以外の施設からも応募をいただき盛会裏に終了することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

今回も1週間前から応募画像を地方会ホームページ上に公開し、事前にWeb投票を行いました。今回で3回目となりWeb投票も認識されてきたためか、地方会当日投票前に昨年の投票数を突破しました。当日投票と合わせて117名348票の投票により最優秀賞1点、優秀賞1点、特別賞1点のベスト画像を決定しましたので、ご報告いたします。

今回はBモード画像に加え血流動態記録したものも多くみられ、病態を正確に把握し診断する検査担当者の努力が感じられました。また今回は、肝外胆管や膵頭部膵管の正常例の応募もありましたが、きれいに描出された画像への得票数も多く、日頃から細部まで観察し、努力すればここまで描出できるのだという姿勢が高く評価されたものと思われまます。どの症例も甲乙つけがたく、投票者は迷われたようで、一つの症例に票が集まることはなく、最高得票でも30票程度と全体に分散しておりました。入賞3点の差もその得票数差はわずかなものでした。

超音波装置の性能向上は素晴らしく、3rdハーモニックやフルフォーカスを使用した画像も多くみられ、性能を的確に使用し判りやすいきれいな画像が多くありました。

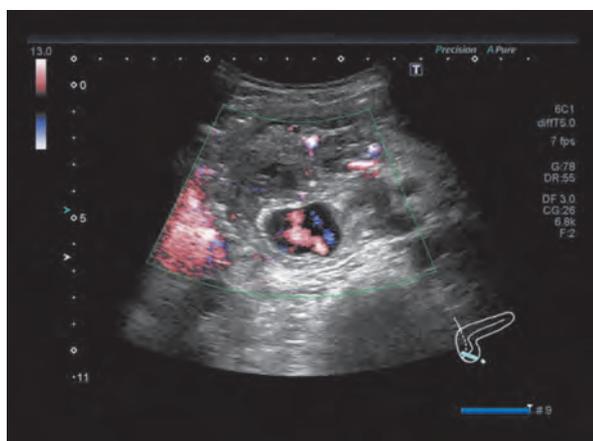
また昨年に引き続き現地開催でしたので参加者も多くなり、直接受賞者にお渡しでき大いに盛り上がりました。

以下に入賞症例3点と得票数の高かった症例を紹介させていただきます。

応募して頂きました皆様および投票に参加して頂きました皆様ありがとうございました。御礼申し上げます。次回も多数のご応募よろしくお願い致します。

井上胃腸内科クリニック 中村 稔  
早期胃癌検診協会 山本 美穂

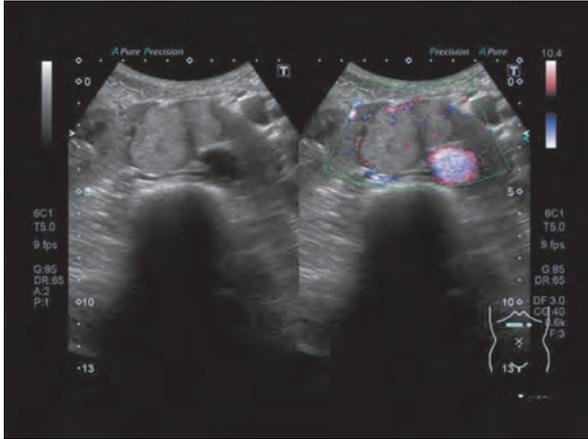
### 【最優秀賞】



術者：岩田 好隆  
所属：医療法人三誠会 川口誠和病院  
装置：Canon Aplio 400  
周波数：5.0MHz  
患者：40歳代 男性  
診断名：胃十二指腸動脈仮性動脈瘤疑い  
コメント（術者の一言）

腫瘍形成性膵炎と思われる膵頭部に複数の嚢胞性腫瘍像を認めたので、「仮性嚢胞かな?」と思いつつも違和感を感じADFを入れると、一つの嚢胞内には拍動流が検出された。仮性動脈瘤を疑い急ぎ検査を終え担当医に連絡しました。静止画像上で右下から流入し時計方向に回転する血流方向を表現することが難しかったです。

## 【優秀賞】



術者：片山 和弥

所属：KKR 九段坂病院 放射線科

装置：Canon Xario 200

周波数：3.75MHz

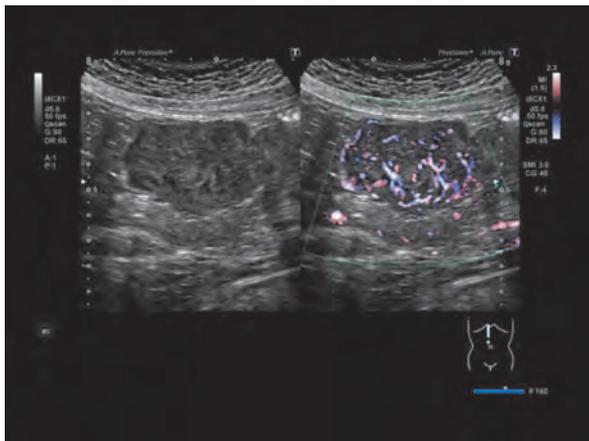
患者：40歳代 男性

診断名：馬蹄腎の峡部に発生した腎細胞がん

コメント（術者の一言）

馬蹄腎に発生した腎細胞がんです。周数は低めですが、皮膜の形成や内部の無エコー域がキレイに描出出来ました。

## 【特別賞】



術者：大澤 理恵

所属：医療法人仁聖会 小畑醫院

装置：Canon Aplio i700

周波数：3.5MHz

患者：50歳代 女性

診断名：空腸 GIST

コメント（術者の一言）

自覚症状なし、スクリーニング目的。空腸に腫瘤を認め、腫瘤内の微細な血管構築像を綺麗に描出できた。USを契機に経口小腸ダブルバルーン内視鏡を施行、生検でGISTと診断された。

【高得票症例】



早期胆嚢癌隆起型



肝外胆管結石嵌頓による  
閉塞性黄疸



膵管内乳頭粘液性腫瘍



総胆管（正常例）



胆管内乳頭状腫瘍

# 前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

### 薬価基準収載

処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 大腸CT用経口造影剤  
**コロンフォート** 内用懸濁液25%

■ 上部消化管X線造影剤  
**パルテスター<sup>®</sup>A240散**  
**硫酸バリウム散99.5%「FSK」**

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

■ X線診断二重造影用発泡剤  
**パリエース<sup>®</sup>発泡顆粒**

■ 胃内有泡性粘液除去剤

**ジメチコン内用液2%「FSK」**  
(ジメチコン内用液)

■ 消化管X線造影剤

**バリトゲン<sup>®</sup>HD**  
**バリトゲン<sup>®</sup>デラックス**

■ 注腸用X線造影剤  
**エネマスター<sup>®</sup>注腸散**

■ 緩下剤

**ピコスルファートナトリウム錠2.5mg「FSK」**  
(ピコスルファートナトリウム錠)

### 取扱商品

■ 大腸・CT用検査食

**FG-two☆**

味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■ 清涼飲料水

**PROJECT F.**

難消化性デキストリン(食物繊維として)入り。

■ 医療用潤滑剤

**FG Jelly**

消臭成分と抗菌成分をダブル配合。  
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

### 遠隔画像診断支援サービス

**G.I.Lab株式会社**

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1  
KIMURA BUILDING 7F TEL : 03-5283-0981

検診に特化。  
胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィ、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。



**伏見製薬株式会社**  
http://www.fushimi.co.jp

仙台営業所/TEL 022-295-5667 東京営業所/TEL 03-5328-7801  
名古屋営業所/TEL 052-732-8555 大阪営業所/TEL 06-6160-2431  
中四国営業所/TEL 0877-22-7284 福岡営業所/TEL 092-413-4107

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

# 第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 地方会のご案内

会 長：岩本 淳一

(東京医科大学茨城医療センター)

会 期：2025年8月31日(日)

会 場：茨城県メディカルセンター・茨城県医師会館  
茨城県水戸市笠原町489

**KAIGEN**

薬価基準収載

処方箋医薬品 X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

〈パウダー製剤〉

硫酸バリウム散 99.1%「共成」

バリトップHD

バリトップP

バリブライトLV

バリブライトCL

バリブライトP

バリコンクMX

ネオバルギンEHD

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、電子添文をご参照ください。

※注意 - 医師等の処方箋により使用すること

[資料請求先] **カイゲンファーマ株式会社**

大阪市中央区道修町二丁目5番14号

<https://kaigen-pharma.co.jp>

## 第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会開催にあたって

### 多職種連携で消化器がん検診の向上を目指して

第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を2025年8月31日（日曜日）に水戸市の茨城県メディカルセンター・茨城県医師会館で開催させていただくことになりました。長い伝統と素晴らしい実績のある本地方会の会長を担当させていただきますことを大変光栄に思います。大変貴重な機会をいただき支部長、幹事、代議員、ならびに会員の方々へ感謝申し上げます。

参加されるの方々にとって実りある会にすべく、プログラム委員の方々からご意見をいただきながら会の構成を検討いたしております。主題演題は胃がん検診（X線・内視鏡）、大腸がん検診、腹部超音波検診を3つの柱として、医師の方々と技師の方々が同じテーマに対して有意義な議論ができ、消化器がん検診の更なる向上に役立つようなセッションにしていきたいと思っております。消化管領域では胃X線に関するフォーラムや症例検討セッションを予定し、大腸の主題セッションでは大腸CTに関する話題も取り入れて診療放射線技師の皆様にも興味を持っていただけるようにしていきたいと思っております。消化器がん検診において腹部超音波は大変重要であり、腹部超音波関連の教育講演、ライブデモやベストイメージング・コンテスト等、超音波画像診断の向上を目指した企画を予定しております。

消化器がん検診において保健衛生は欠かせない領域であり、次回も大腸がん検診等、保健衛生に関するセッションを予定していますので、是非多くの保健師の皆様にもご参加いただきたく思います。

医療、行政、医師会等様々な方面の協力、また医師、診療放射線技師、臨床検査技師、保健師、等多職種による連携協力が消化器がん検診の向上に不可欠と考えます。

今年の安田宏会長主催の地方会にも参加させていただき、本地方会は多職種の方々がそれぞれの立場で有意義な議論を行うことができる大変貴重な会であることを再認識することができました。来年も水戸開催で都内からやや遠方とはなりますが、ご参加いただく方々が満足いただき参加して良かったと思え、また少しでも日常診療に役立てる会になるよう精一杯準備を進めてまいる所存です。是非多くの皆様方のご来場をお待ちしております。

2024年10月吉日

第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会会長

東京医科大学茨城医療センター消化器内科教授・内視鏡センター長

岩本 淳一

## 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 超音波研修委員会

### 第27回 初心者のための腹部超音波検査実技講習会

超音波検査を始めたばかりの方や、これから超音波検査を行いたい方を対象とした講習会です。

少人数グループ制で、実際にプローブを握り実技を習得していただきます。

期 日：令和7年2月8日(土) 9:00~16:30

会 場：キヤノンメディカルシステムズ株式会社首都圏支社 会議室

住 所：東京都中央区佃2-1-6 リバーシティ M-SQUARE 8階

募集人数：20名程度

参加費：会員 22,000円 非会員25,000円

講 師：岡庭信司先生 実技講師：超音波検査士

講習内容：テキストに従いグループごとに肝、胆、膵、脾、腎の解剖や描出の基本手技およびポイントを、実際にプローブを握り習得していただきます。

主 催：日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

\*初心者の方はもちろん、経験者でもう一度基礎から学びたい方も、新人教育の参考にした方も大歓迎です。

### 令和7年度 第25回 超音波セミナー

期 日：令和7年4月12日(土) 13:00~16:30

会 場：東医健保会館大ホール (東京都新宿区南元町4番地)

参加費：会員 2,000円 非会員3,000円

\*クイズセッションと教育講演 予定

主 催：日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

※このセミナーは、社団法人日本超音波医学会認定「超音波検査士」の資格更新指定の対象になっており、出席5単位が付与されます。

# 第17回 超音波セミナー in 新潟

**日時** 2025年3月22日(土) 10:00-17:00 予定

**会場** 朱鷺メッセ 国際会議室(マリンホール)

## プログラム

午前：ライブデモンストレーション

岡庭 信司 先生

渡邊 幸信 先生

午前：ハンズオン

講師・領域未定

午前：教育講演

岡庭 信司 先生

飯田市立病院 消化器内科

渡邊 幸信 先生

日本大学病院 消化器内科 超音波室長

小野 友輔 先生

北九州市立八幡病院 小児臨床超音波センター長



## 超音波スクリーニング研修講演会2024東京のお知らせ

超音波スクリーニング研修講演会2024東京を下記のとおり開催いたします。

参加登録は、会場開催参加・Web開催参加（オンデマンド配信）の何れかでお申し込みください。

本研修会は、日本超音波医学会認定の超音波検査士資格更新5単位が取得できます。

参加登録の詳細は、当法人ホームページでご確認ください。

### ■会場開催

期 日：令和6年12月21日(土) 10時20分～16時15分

\*開場および受付開始は9時50分です。

会 場：浜離宮朝日ホール（小ホール）東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館2F

募集定員：250名（先着順）定員になり次第会場参加の申込みは終了とさせていただきます。

参加費：4,000円《不課税》オンデマンド配信も付きます。

### ■Web開催

配信方法：オンデマンド配信で行います。12/21のライブ配信（生配信）は実施しません。

配信期間：令和7年1月6日(月)から2月28日(金)まで

配信動画：テーマ講演4演題／ライブセミナー2演題 & 共催ライブデモセミナー2演題

参加費：4,000円《不課税》募集の人数制限はありません。

### ■参加登録方法：事前登録をお願いいたします。

支払はクレジットカード決済または銀行振込です。

### ■申込期間：令和6年10月1日(火)から令和7年1月31日(金)まで

### ■申込方法：参加登録 URL： <https://form.m-event.jp/form/48/us-screening-2024>

NPO 法人ホームページ URL： <https://us-screening.org/>

NPO法人HP  
QRコード



参加登録  
QRコード



■主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

■共催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

■問合せ先：研修講演会事務局(大波) E-mail: [office@us-screening.org](mailto:office@us-screening.org)

■講演会場プログラム

テーマ: USスクリーニング…自信をもって精査にまわそう!…

10:25 ~ 11:10	ライブ 1	演題: 臍頭部領域を見る、観る、診る 講師: 岡庭 信司 (飯田市立病院 消化器内科)
11:20 ~ 12:05	講演 1	演題: 臍臓 講師: 川端 聡 (住友病院 臨床検査科 超音波センター)
12:30 ~ 13:15	ライブ 2	演題: The Live! 腹部超音波検診判定 マニュアル推奨記録断面25枚撮影法のポイントと意義 講師: 小川 眞広 (日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野)
13:30 ~ 14:15	講演 2	演題: 乳腺 講師: 何森 亜由美 (香川医療生活協同組合 高松平和病院)
14:25 ~ 15:10	講演 3	演題: 肝臓 講師: 森 秀明 (杏林大学医学部 医学教育学)
15:25 ~ 16:10	講演 4	演題: 胆道 講師: 水口 安則 (国立病院機構 東京医療センター 臨床検査科)

\*ランチョンセミナー〈ライブ2〉で、お弁当をお配りいたします。

■共催ライブデモセミナー(オンデマンド配信)

共催: キヤノンメディカルシステムズ株式会社

演題: 自信をもって精査にまわす!

演者: 渡邊 幸信 (日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野)

共催: GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

演題: マニュアル推奨25断面の Next Level

演者: 小川 眞広 (日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野)



# 超音波スクリーニング研修講演会 2024 東京

US スクリーニング  
《 自信を持って精査にまわそう! 》

会場参加、Web参加のどちらか一方をお申し込みください

## 会場参加

令和6年

12月21日(土)

10:20~16:15 開場 9:50

浜離宮朝日ホール(小ホール)

東京都中央区築地 5-3-2 朝日新聞社新館 2F

定員: 250名(先着順)

ライブ配信なし オンデマンド視聴可能

## Web参加

(オンデマンド配信)

令和7年

1月6日~2月28日まで

配信動画

テーマ講演 4演題

ライブセミナー 2演題

共催セミナー 2演題

## 参加費

4,000円(不課税)

クレジットカード決済・銀行振込 をお願いいたします。

## 申込期間

令和6年10月1日から令和7年1月31日

## 申込方法

参加登録サイト または、超音波スクリーニングネットワーク  
ホームページからお申し込みください  
(裏面にQRコードがあります)

会場参加・Web参加とも、超音波検査士更新5単位が付与されます。

## 主催

特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

事務局 〒158-8531 東京都世田谷区上用賀 6-25-1

公立学校共済組合 関東中央病院 超音波室

問合せ先(担当 大波) E-mail:office@us-screening.org

## プログラム

テーマ：USスクリーニング 《自信を持って精査にまわそう！》

10：25～11：10	ライブセミナー1 『膵頭部領域を見る、観る、診る』 演者：岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科） 座長：伊藤 正範（一般財団法人 日本健康管理協会 新宿健診プラザ）
11：20～12：05	テーマ講演1 『膵臓』 演者：川端 聡（住友病院 臨床検査科 超音波センター） 座長：幕田 倫子（福島県立医科大学附属病院）
12：30～13：15 ランチョンセミナー *お茶 弁当 提供有	ライブセミナー2 『The Live！腹部超音波検診判定マニュアル推奨記録断面25枚撮影法のポイントと意義』 演者：小川 眞広（日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野） 座長：山崎 史恵（医療法人社団 相和会 横浜ソーワクリニック・横浜総合健診センター）
13：30～14：15	テーマ講演2 『乳腺』 演者：何森亜由美（香川医療生活協同組合 高松平和病院） 座長：杉田 清香（医療法人財団医親会 海上ビル診療所）
14：25～15：10	テーマ講演3 『肝臓』 演者：森 秀明（杏林大学医学部 医学教育学） 座長：鈴木 優大（東京女子医科大学附属 足立医療センター）
15：25～16：10	テーマ講演4 『胆道』 演者：水口 安則（国立病院機構 東京医療センター 臨床検査科） 座長：長竹 武彦（一般社団法人 佐野市医師会附属 佐野医師会病院）

※ ライブセミナー2) でお弁当をお配りいたします。

### 共催ライブデモセミナー（オンデマンド配信のみ）

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社 演題：自信をもって精査にまわす！ 演者：渡邊 幸信（日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野）
共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社 演題：マニュアル推奨 25 断面の Next Level 演者：小川 眞広（日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野）

主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

共催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

後援：日本超音波検査学会／全国労働衛生団体連合会／超音波検査法フォーラム／東京超音波研究会

日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会

日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会

参加登録サイト

URL： <https://form.m-event.jp/form/48/us-screening-2024>



特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク ホームページ

URL： <https://us-screening.org>



※ 参加登録は、ホームページからもお申し込みいただけます。



## 保健衛生研修委員会活動報告

### 第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会

#### 消化器がん検診従事者意見交換会（研修会）を終えて

実践女子大学 小川 敬子

Newsletterに初めて登場させていただきます保健衛生研修委員会の小川でございます。編集委員長の山口先生にお声がけいただき委員会の活動を皆様にご存知いただくきっかけづくりにと地方会での研修会の様子を掲載させていただくこととなりました。

看護職6名の小さな委員会ですが、皆の力を結集しながら、歴代の支部長はじめ地方会大会長・医師・放射線技師・事務職の方々の力強いご支援のもと活動を継続できている状況です。

そのような中、第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会の当該研修会では大会長の安田先生を筆頭に神奈川県下の放射線技師、県職員の方、講師の先生のご尽力により小規模ながらも多職種と連携しての熱量のある研修会を開催することができました。

研修会は、『がん検診の現状と課題 ～精密検査受診率向上を目指して～』を全体テーマとして二部構成で開催しました。一部では、ミニレクチャーを二人の講師の方にお願ひし、神奈川県がん・疾病対策課 課長（保健師）津島志津子先生には「神奈川県におけるがん検診の現状と課題」と題し、「誰一人取り残さないがん対策、を目標とした推進計画の概要や対策型検診の中でも大腸がんの精密検査受診率が66.2%と低いことが挙げられ、特別区、市町村の職員と協働し、それぞれの地域特性を活かしたがん対策への支援が肝要とのご講話でした。

また、松島病院 内視鏡センター 部長 鈴木康元先生には、「大腸がん検診の有効性を高めるにはー保健師・看護師の皆さんへのお願ひー」との親しみ易くも看護職としては背筋の伸びる興味深いテーマでレクチャーをいただきました。「正しい検診を正しく行う、精密検査受診はルール、との熱いメッセージが参加者にとって精検受診率100%を目指す強い動機付けとなりました。

二部の懇話会では、冒頭のレクチャーを参考に精密検査対象者を受診につなげる支援や仕組み、戦略などについてグループワーク形式にて参加者間で情報や提案の共有をおこない、交流をとおして対策のヒントを得ることができ、励みにも繋がったようです。

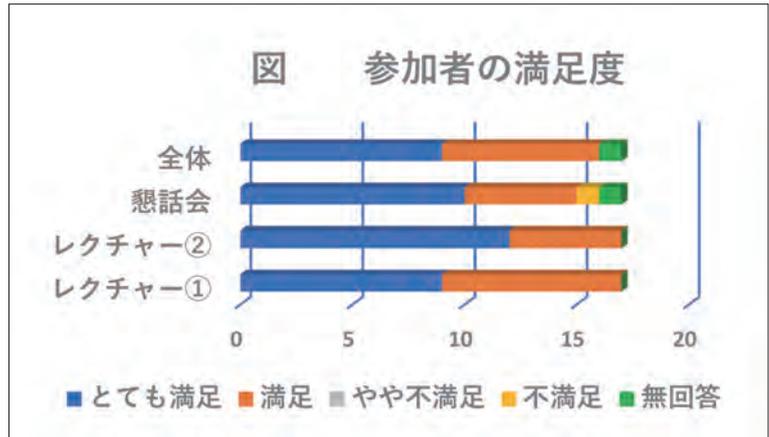
ここでは、研修会にご参加くださった方のアンケート結果をもとにリアクションを紹介してみます。

#### I 研修会のアンケート結果の概要

※アンケート対象者22名：回答者17名（回答率77.3%）

1 職種別参加者数

職種	人数(名)
保健師	15
看護師	6
医師	4
臨床検査技師	1
放射線科技師	2
事務職	3



2 参加者の満足度

図 参照

3 参加しての具体的な意見や感想 (一部抜粋・集約)

1) ミニレクチャー①『神奈川県におけるがん検診の現状と課題』

- ・他自治体の状況や同じような課題が分かりとても有意義な話を聞いてよかった。
- ・県の取り組みがよくわかり、他の地域の現状を知ることができた。
- ・県のがん対策課長がおられること自体すばらしいことである。
- ・限られたマンパワーの中、資源を有効に活用するなど考えていきたい。

2) ミニレクチャー②『大腸がん検診の有効性を高めるには ー保健師・看護師の皆さんへのお願いー』

- ・悪徳商法のマインド！ 悪徳業者のようになってても精密検査受診勧奨をねばり強くしつこく続けるということが印象的でした。
- ・ドクターの話はいろんな方向からでおもしろく大変分かりやすい講演でした。
- ・強い気持ちで受診勧奨することが大切と思った。
- ・大腸がんで亡くなる方を一人でも減らす…感動しました。
- ・「正しい検診を正しく行う」「精密検査の受診はルールです」の言葉が印象に残った。
- ・精密検査受診勧奨について、色々と再検討する必要性を感じました。

3) 懇話会 (意見交換会)

- ・どの施設も同じような課題を抱えていることが分かった。
- ・普段あまりお話ができない先生方や他自治体の方とお話できてよかった。
- ・新しい人と話すのは緊張するが面白い。・もう少し時間があっても良いと思う。
- ・皆さんの熱心な取り組みを知ることが出来た。・交流ができて励みになった。
- ・グループワークの中で直接生の声を聞くことができた。・グループワークがとても楽しかったです。・横浜市や茨城県の胃がん検診のお話が、自治体の胃がん担当者としては興味深かった。・検診機関で受診勧奨 (電話や手紙、メール) されている努力を知って驚きました。・メールでの精密検査受診勧奨も取り入れたい。
- ・精密検査受診率を向上させるためには電話だけではなく、手紙やメール、結果説明の時に予約をするなど様々な工夫がされていることがわかりました。
- ・健康教育で情報提供や正しい知識の普及を行うことも大切であるとわかりました。

#### 4) 今後取り入れてほしい内容や企画

- ・受診勧奨後の成功事例の共有
- ・内視鏡のハードルを少しでも下げするための工夫
- ・他の機関での取り組みを知りたい
- ・情報交換はいいなと思う

以上参加者の声を紹介しましたが、ミニレクチャーが導入、動機づけとなり懇話会での意見交換会へと発展したように思います。懇話会は、グループワークなど皆と双方向の会話をとおして検診を実施する上での困りごとや悩みごと、具体的な解決策など話し合いながらヒントをhang outでき、同時に交流が新たな励みになることを実感しております。

## II 今後に向けて

地方会に於いては、主催地域の消化器がん検診に係わっておられる自治体職員や医師、放射線技師さんと協働し、参加者募集に当たっては、開催県のがん対策課、健保連などとの連携を図り、自治体・検診実施医療機関・職域等違った立場の方が集えるようになればと考えます。また、多職種にご参加いただくことで多様性のある新たな学びや刺激がある意見交換ができるように思います。開催県を巻き込んだ意見交換会の開催を長野から神奈川そして次年度の茨城へと繋いで行き、地域の一人でも多くの看護職、事務職の方が消化器がん検診に関心を持っていただければと望んでおります。

委員も東京、神奈川、千葉、栃木のメンバーのみとなり何とか拡充できればと願っているところです。皆様からもご紹介いただけると大変嬉しいです。

また、オンラインで研修会を年に一回程度は開催し、他支部看護職の方にも声かけしネットワークが広がればと考えております。

マンパワー不足の保健衛生研修委員会ですが、多職種連携、多施設連携、支部連携も目指し、needsに合ったテーマで研修会を企画できるよう努力をして参りたいと思いますので、引き続きお力添えをいただければ幸いに存じます。



.....

**今後の研修会**

期 日：2025年3月5日(水) 19時30分～20時30分 予定

形 式：オンデマンド 開催

インフォメーション・access URLについては、支部ホームページに掲載予定

テーマ：胃エックス線検診安全基準の基本と上手な活用法

ミニレクチャー：支部長（胃エックス線安全基準委員会委員長） 小田丈二 先生  
 東京都立がん検診センター 放射線科 山岸史明 先生  
 看護職 未定

参加対象者：胃がん検診に係わっている方・関心のある方（職種は問わず）

参加費 : 無料



**第18回千葉県消化管画像づくり研究会のご案内**

会 期：2025年3月29日(土) 午後

会 場：千葉市文化センター

〒260－0013

千葉市中央区中央2－5－1

TEL 043－224－8211

## 編集後記

今号はまず、小田支部長にごあいさついただきました。支部優秀演題賞という新企画で、学会の次世代を担う若手の会員に応募していただきたいです。

第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の報告を、会長の安田宏先生に述べていただきました。第82回関東甲信越支部地方会に続き対面開催となりました。教育講演、主題、症例検討会、ザ・ベスト・イメージング・コンテストと伝統的な企画が予定通り開催されました。会場の立地も良かったですし、天候にも恵まれ、多くの会員に現地参加いただきました。ザ・ベスト・イメージング・コンテストの症例は、症例報告がふさわしいような症例を複数提示いただきました。

第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の日程と会場が決まりました。83回に引き続き現地開催予定です。

超音波研修委員会の、第27回初心者のための腹部超音波検査実技講習会、令和7年度第25回セミナー、第17回超音波セミナーin新潟の日程が決まりました。従来通りの現地開催予定とのことです。

超音波スクリーニング研修講演会2024東京のご案内が届いています。会場参加とインターネットオンデマンド視聴が可能なハイブリッド開催です。

千葉県画像づくり研究会も昨年から再開され、第18回の日程が決まりました。現地開催です。

当学会は胃癌対策から始まり、大腸癌、肝胆膵癌対策と対象とする臓器が広がり、現在に至ります。胃癌の年齢調整死亡率が大分下がってきて、胃内視鏡検診が広がり、「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル2024改訂第2版」が出版され、軌道に乗った感があります。大腸癌、膵臓癌はどうでしょう。まだまだ我々がやるべきことがあります。検診受診率をもっともっと高めていきたいです。また、引き続き安全安心な検診をこころがけてください。

公益財団法人ちば県民保健予防財団  
総合健診センター  
山口 和也

### ■編集委員会■

編集委員長	山口 和也	
編集委員	依光 展和	岡田 義和
	神宮司 広明	山本 美穂
	石井 崇雄	渡邊 綾子



(非売品)